

土木交通委員会 請願・陳情一覧

令和元年9月9日（月）

○緑政土木局関係

（新規分）

令和元年請願第9号 相生山緑地に関する道路事業の廃止と整備について、市民による
住民意向調査の集計結果を尊重し、反映させることを求める件 (保留)

○

令和元年陳情第5号 天白公園の大根池の整備を求める件

きょおし

○交通局関係

（新規分）

令和元年請願第4号 地下鉄東山線本山駅に早期にエレベーターを設置することを求め
る件 (保留)

相生山緑地に関する道路事業の廃止と整備について、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、反映させることを求める件

請願者 天白区天白町大字野並字稲田 2005 番地の 236
相生山緑地を考える市民の会
共同代表 外波山 節 子

要 旨

2014年12月26日に河村市長は、市道弥富相生山線の道路事業の廃止、近隣住宅地への通過自動車の入り込みの対策、相生山緑地の整備を表明した。

2010年に河村市長の命により市道弥富相生山線の建設工事が中断され、道路建設についての検証が有識者で構成された学術検証委員会で6回行われ、報告書が河村市長に提出された。報告書に地域住民等の高度な判断とあることを受けて、2013年の市長選挙で河村市長は、相生山は住民投票で、としていた。しかし、実際には住民投票ではなく、道路事業の是非の判断をするための住民意向調査を、2014年10月11日に天白区役所において行い、住民の意向を聴取した。

河村市長の道路事業の是非に関する判断に至るまでの経緯の中で、私たち相生山緑地を考える市民の会は、名古屋市都市計画公園緑地である相生山緑地を横切る市道弥富相生山線の建設工事に関して、市民・住民の意向が是か非かを知ることが目的に、2014年9月27日から10月31日までを調査期間として市民による住民意向調査を行った。1093人の市民がこのアンケートに回答したが、その結果は、「道路を中止して緑地にする」が74%、「継続して道路建設をする」が16%、「わからない」が10%であった。また、それぞれの理由を10項目から選択した結果は、「道路を中止して緑地にする」と答えた人の70%以上が「緑地を分断して自然を破壊するから」及び「ヒメボタル・オオタカの生息地を守る」の2項目を理由として選んでいる。このような市民・住民の意向を伝えると同時に、このアンケートの集計結果を尊重し、市政に生かすようお願いする。

2010年に生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が名古屋市で行われ、生物多様性・生態系の保全が盛んに叫ばれ、昨今それらの重要性はさらに増し、私たちに問いかけている。2014年12月の河村市長の道路建設廃止の表明から4年を経て、2018年12月に相生山緑地基本計画の素案が公表された。世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議で検討されてきたこの素案は、市民の意向からも、生物多様性・生態系の保全からも遠くかけ離れている。豊かな自然を論点にしたコンセプトに基づき、市民の意向に沿った緑地整備の計画にしてほしい。また、緑地整備の計画に市民が参画できるシステムを設けることにより、市民の意向が尊重され、反映され、市民の活力が生かされる市政が実現するようにしてほしい。

速やかに道路建設の廃止が都市計画で決定され、新たな相生山緑地が市民の願いの結晶として世界に発信できるようになることを願っている。

については、次の事項の実現をお願いする。

- 1 河村市長が表明した市道弥富相生山線の道路事業廃止及び近隣住宅地への通過自動車の入り込みの対策については、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、速やかに実現すること。
- 2 河村市長が表明した相生山緑地の整備については、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、緑地を分断して自然を破壊しないこと。また、ヒメボタル・オオタカの生息地を守ること。
- 3 相生山緑地の整備に、市民の意向を尊重し反映するために、市民が参画できるシステムをつくること。

天白公園の大根池の整備を求める件

陳情者 天白区原三丁目 102 番地
太 田 敏 光

要 旨

大根池は周囲 700 メートルの大きな池で、市民の憩いの場である。

しかし、大根池は臭い、汚い、見苦しい。

ウシガエルやオオキンケイギク等の外来種が生息している。ヘドロが堆積している。アシが水面を覆っている。土砂が堆積して水深が浅くなっている。池の中から草木が生えている。人が大根池に近づくことができない。水に触れることができない。

ついては、次の事項の実現をお願いします。

- 1 市民に愛される大根池へと整備すること。

地下鉄東山線本山駅に早期にエレベーターを設置することを求める件

請願者 千種区池上町2丁目7番地の1 池上住宅305
地下鉄東山線本山駅に早期にエレベーターの設置を求める会
代表 林 玖美子

要 旨

昭和38年に地下鉄東山線池下・東山公園間が開通して56年になる。

名城線本山駅にはエレベーターが設置されているが、これと交差する東山線本山駅には地上へ通じるエレベーターもエスカレーターもない。

平成31年4月1日時点での、本山駅周辺の東山学区、見付学区及び田代学区の高齢化率は約22%と高く、また、千種区の0歳から4歳までの人口6493人のうち約34%がこれらの学区に集中している。そして、今年4月の1か月間の本山駅の乗降者数は約80万人であり、そのうち敬老パスの利用者は約10万人である。

本山駅周辺には、病院、各種診療所、スーパーマーケット、コミュニティセンター、社会福祉協議会のほか、会議室、エレベーター、身体障害者用のトイレを備えたコープあいちの会館もある。そして、マンションの建設に伴い保育所の建設も盛んで、若い人の転入が増えている。

高齢者や障害者に加え、乳幼児を連れてベビーカーを使用する母親等による地下鉄の利用も増え、エレベーターがないことによる事故が起きかねない状況である。

昨年12月に70歳代の女性が東山線本山駅の階段を降りる際、下からたくさんの方が昇ってきたため手すりにつかまろうとしたところ、つかみ損ねて階段から転げ落ち、救急搬送された。もし東山線側にもエレベーターがあれば、事故は起きなかったかもしれない。また、家に閉じこもりがちな高齢者や障害者もあんきに外出できるため消費経済にとってもプラスになり、健康面にも良く、医療費削減にもつながる。

市交通局の計画では東山線本山駅へのエレベーターの設置は、今後3番目に実施される計画で、5年以内に着手されるものと聞いているが、利用できるようになるまでには7年くらいかかりそうである。住民が日々、あんきに利用し生活することができるよう、1日も早く着工するようお願いする。

ついては、次の事項の実現をお願いする。

- 1 地下鉄東山線本山駅に早期に地上に通じるエレベーターを設置すること。

